

秋季高校野球県大会組み合わせ決定

左腕に好投手そろろう

来春の選抜大会につながる第72回秋季高校野球県大会の組み合わせが9日、決まった。大会は14日に草薙など4球場で開幕し、28日に決勝と3位決定戦を行う。上位3校が10月26日から岐阜県で行われる東海大会への出場権を獲得する。

各地区大会の上位24校に今夏の全国選手権出場の静岡を加えた25校が参加。優勝争いは各地区上位校を軸に展開しそうだ。左の好投手が多いのが見所の一つ。中部は上位5校の戦力が充実している。西部は8校の力が拮抗(きっこう)し、東部上位校は絶対的なエースの存在が強い。

中部を制した静岡は神谷、相羽の二遊間を含む4人が前チームからの主力。投手も甲子園を経験した左腕松本蓮が軸になる。同ブロックには攻撃力のある常葉大菊川(西部3位)と飛龍(東部5位)、出場の静岡を加えた25校が参加。優勝争いは各地区上位校を軸に展開しそうだ。左の好投手が多いのが見所の一つ。中部は上位5校の戦力が充実している。

西は西尾、水野ら前チームの主力4人が残り、投手も内山真、高井の左右2本柱が盤石。同ブロックには最速148km/hの左腕高田を擁する静岡商(中部2位)が入った。昨秋の県覇者御殿場西(東部5位)や、今夏準優勝の駿河総合(中部5位)は投手陣の出来が鍵になりそうだ。

東部を制した知徳のブロックは激戦区となつた。知徳はエース右腕葉桐を軸に、地区6試合でわずか7失点の堅守が光る。東海大翔(結城啓子)

